

地区社協第24回定期総会を開催!

6月15日、燕沢コミュニティセンターで燕沢地区社会福祉協議会第24回定期総会が役員・評議員約40名の参加の下開催されました。

総会は、議長に佐藤要次副会長に就任していただき、令和5年度の事業報告、会計決算・監査報告が承認された後、令和6年度の事業計画案、会計予算案、令和6年度役員一部改選案が提案され、いずれも満場一致で可決承認されました。

総会の開会あいさつで、辻会長は「昨年5月に新型コロナが5類移行し、日常が取り戻されてきたことを契機に、地域福祉の活動再開に向けて各地区でのサロンの再開、学区ふれあいサロンの開催などに取り組んできました。引き続き小地域福祉ネットワーク活動を軸に、地区サロン活動や介



護予防・健康づくりの活動についても取り組んで行きたい。安全・安心の地域づくり、地域交通『のりあい・

つばめ』の利用拡大など、これらの課題に向けて取り組んでまいりたい」と抱負を述べました。

「福祉講習会」を開催

また、終了後、「福祉講習会」を「認知症出前講座」として開催し、仙台オープン病院の石木幹人医師に「元気で長生きして住んでるだけで健康になれる町を作る」と題して、認知症やフレイル予防などについて講演をいただきました。



ご来賓の皆様

- 燕沢地区連合町内会長 大 西 憲 三 様
- 市社協宮城野区事務所長 石 川 浩 之 様
- 東仙台地区社協会長 渡 辺 公 一 様
- 新田地区社協会長 橘 川 光 男 様
- 燕沢小学校校長 佐々木 祐 二 様
- 西山中学校校長 狩 野 富 士 子 様
- 燕沢児童館館長 浅 沼 和 恵 様

《社会福祉協議会》 会員加入のお願い

活動
目標

安心していきいき暮らせる 福祉のまちづくり

「社会福祉協議会」は社会福祉法において、地域福祉の推進役として位置づけられています。

- 普通会員 300円
- 特別賛助会員 1,000円

8月に各町内会を通じてお願いします。とくに、当燕沢地区の特徴でもある特別賛助会員の拡大を呼びかけています。

社協会員(普通・特別賛助会員)

令和5年度 実績数

町内会名	令 和 5 年 度			合計金額 (円)
	会 員 数 (人)			
	普通	特別	合計	
燕 沢 北	469	24	493	166,300
小鶴北部	440	100	540	232,000
燕沢東部	333	101	434	201,000
鶴ヶ谷南	50	60	110	77,200
山 崎 西	180	26	206	80,000
菖 蒲 沢	280	63	343	147,000
合 計	1,752	374	2,126	903,500

《普通会員；300円 特別賛助会員；1,000円》

令和5年度 燕沢地区社協事業報告

(1)小地域福祉ネットワーク・サロン活動

- 新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、各地区のサロン活動はほぼコロナ禍前に戻りました。47名の福祉委員も外からの見守りを中心に安否確認や日常生活支援活動を行いました。
- 介護予防運動に取り組んでいる3つの自主サークル活動はほとんど休むことなく計画どおり実施されました。
- 12月には156世帯(1人暮らしと高齢夫婦世帯)に福祉年賀状を出しました。

(2)高齢者食事サービス事業について

- 3月2日に昨年に引き続き「燕沢学区ふれあいサロン」を燕沢コミュニティセンターで開催しました。参加者は対象者58



名、役員・福祉委員など27名、合計85名の参加でした。「和道楽くらぶ」の皆さんによる演奏で楽しみました。

- 終了後、各地区の福祉委員リーダーからサロン活動の取り組み状況についてご説明いただきました。最後に、お弁当や飲み物を持ち帰っていただきました。

(3)安全・安心な地域づくり

- 10月29日、燕沢学区自主防災訓練が燕沢小体育館で避難所開設訓練を中心に実施されました。4年ぶりの各地区からの参加による開催で、仮設トイレなどの設備を見学した後、避難所開設の際に地域防災対策本部に設置される名簿班、食糧班など6つの班それぞれの任務・役割等についてパワーポイントによる説明がありました。
- 地区社協は、例年より防災訓練に際して地区福祉委員による安否確認で参加してきましたが、昨年は24人の福祉委員で121世帯に実施しました。
- 昨年度も「感染症対策事業費」として市社協より40,000円が助成されました。この助成金を活用して、アルコール消毒液とテーブル用除菌ウェットタオルを購入し、各町内会集会所とコミ

令和5年度「小地域福祉ネットワーク活動事業」実施状況報告書

支援者数(福祉委員数) 47人 (上段:活動実施世帯数 下段:活動回数(延べ)=太字) (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

区 分	一人暮らし 高齢者世帯	日中独居 高齢者世帯	高 齢 夫 婦 世 帯	そ の 他 の 高 齢 者 世 帯	障 害 者 の い る 世 帯	合 計	
安 否 確 認 活 動	①訪 問	8 6	3 8	4 7	1	3	1 7 5
		7 6 6	1 3 1	1 7 9	5	2 4	1,1 0 5
	②電 話	3 4	4	7	1	2	4 8
		1 8 0	1 0	1 6	2	5	2 1 3
	③見守り (外からの)	9 4	4 0	5 3	3	3	1 9 3
		6,9 4 4	5 7 4	1,5 3 7	1 9 3	1 0 8	9,3 6 5
④その他	2 9	3	8	0	0	4 0	
	1 2 8	1 2	6 4	0	0	2 0 4	
①~④の 合 計	2 4 3	8 5	1 1 5	5	8	4 5 6	
	8,0 1 8	7 2 7	1,7 9 6	2 0 0	1 3 7	1 0,8 7 8	
日 常 生 活 支 援 活 動	実施世帯数(実数)	1 6	2	6	0	0	2 4
	実施回数(延べ回数)	2 8 5	1 2	5 4	0	0	3 5 1
	実 施 内 容	①家 事	除雪、買い物、ゴミ出し、食べ物のお裾分け、話し相手、トイレの介助、草取り				
		②外 出	外出や通院の送迎、付き添え				
③その他		簡単な用足し、器具の修理					

(各地区福祉委員からの活動記録の集計による)

セン、「パルシア」「いこいの郷・燕沢」に配備しました。

ナーなど)、各地区サロン、「おたっしゃくらぶ」「小鶴りフレッシュ体操教室」「ございん燕沢北」。

(4) 燕沢東復興公営住宅入居者への支援

○燕沢東部の復興公営住宅の入居者支援については、令和5年度も、市社協の「安心の福祉のまちづくり助成金」を活用して、「燕沢東紙遊びの会」による月1回の折り紙のサークル活動などに取り組んできました。

(5) 「のりあい・つばめ」の取り組み

○燕沢地区の地域交通「のりあい・つばめ」の本格運行3年目の昨年度は、利用者数は5,607人(目標3,960人)で1便当たりの乗車人数は5.61人で目標の4人を大きく上回る結果となりました。財政的にも目標をクリアし、3年目の実績は大健闘でした。

(6) 広報活動

○8月に『地区社協だより58号』を発行しました。

(7) 敬老会への協力について

○敬老会については、地区社協として統一して「紅白饅頭」を届けました。令和5年度は、計900個(前年度は849個)でした。

(8) 地域福祉活動「見える化」の取り組み

○市社協宮城野区事務所(区社協)の「地区社会福祉協議会PR(見える化)事業」の助成金を活用し、のぼり旗13本を作成しました。対象は地区社協(学区ふれあいサロン、福祉相談コー

(9) その他の活動

○令和4・5年度の2年間、区社協が進める地域福祉の協働推進事業の指定地区となり、区社協・地域包括支援センターと協議を進めながら取り組みました。令和5年1~2月に、各地区で町内会、福祉委員を交えた座談会(「ふくふくつばめ座談会」の愛称)を実施しました。そして、2年間の振り返り活動も進められ、3月の「学区ふれあいサロン」での各地区の活動報告なども行われました。

○令和5年度の学区民まつりは7月23日に開催され、地区社協はパルシア・地域包括支援センターのご協力の下「福祉相談コーナー」を設置し、参加しました。

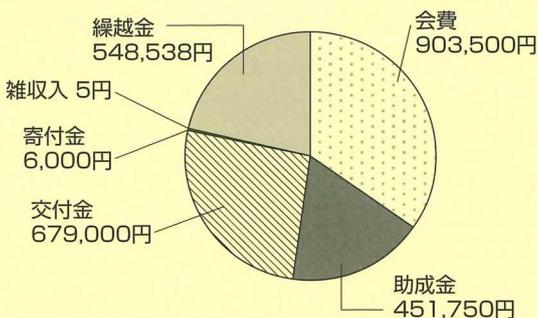
○児童館まつり「つばめっこランド」は10月14日に開催され、地区社協は「水ヨーヨー」にボランティアとして協力しました。



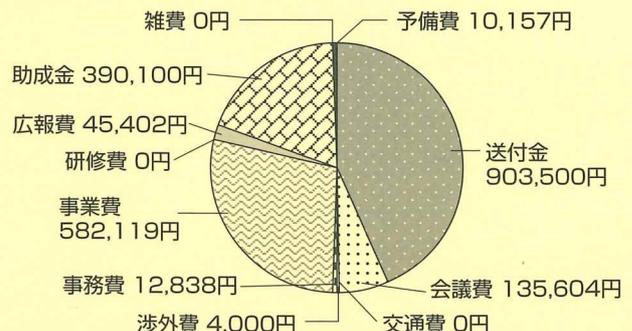
「社協だより せんだい(宮城野区板) vol20(令和6年4月1日発行)に掲載されました。

令和5年度会計決算報告

■収入 2,588,793円



■支出 2,083,720円



収入 2,588,793円 支出 2,083,720円 残 505,073円(次年度へ繰越)

令和5年度 サロン及び介護予防自主サークル活動実施報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

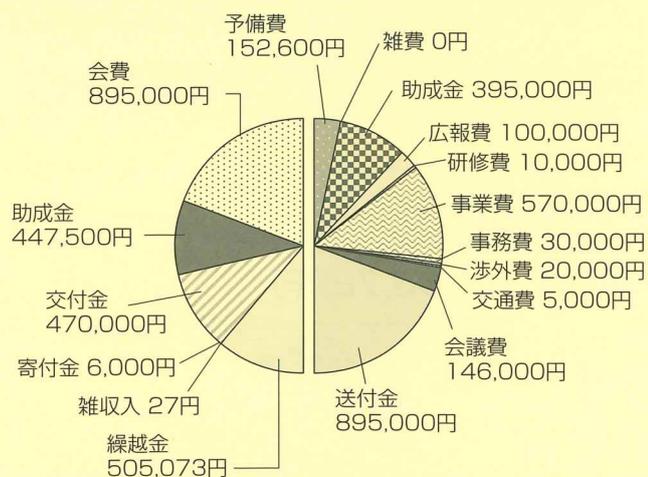
名称	会場	実施回数	参加者数	内容
あやめ会	菖蒲沢集会所	12	101	茶話会、手芸、新年会、節分
リフレッシュ体操教室	小鶴北部集会所	36	504	介護予防健康体操
燕沢おたっしやくらぶ	燕沢コミセン	36	763	介護予防健康体操
ございん燕沢北	燕沢北集会所	23	323	シニア健康体操
ふれあいサロン	鶴ヶ谷南集会所	2	18	講話、軽運動、脳トレ、昼食、雑談
お茶っこづる	小鶴北部集会所	2	17	健康教室、昼食、体操、歌
ほっこりつばめ	燕沢東部集会所	8	75	運動、芋煮会、ゲーム、作品展、ひな祭り

令和6年度 事業計画

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1)小地域福祉ネットワーク活動の推進 | (6)地域交通「のりあい・つばめ」の推進 |
| (2)地域サロン活動の充実と支援 | (7)研修会・広報活動 |
| (3)高齢者食事サービス事業の実施 | (8)団体支援・助成 |
| (4)地域防災体制づくりの推進 | (9)協賛事業に参加し、地域社会との関わりを深める |
| (5)復興公営住宅入居者への支援 | |

令和6年度 予算

収入 2,323,600円 支出 2,323,600円



令和6年度(一部改選) 燕沢地区社会福祉協議会役員体制

役職名	氏名	備考(町内会等)
会長	辻 隆一	菖蒲沢
副会長	佐藤 要次	山崎西町内会長
//	小畑 吉美	小鶴北部・地域福祉活動推進員
庶務	野口 進一	菖蒲沢・民生委員
会計	近江よし子	燕沢東部
理事	大西 憲三	菖蒲沢町内会長・学区連合会長
//	橋谷田光祥	鶴ヶ谷南町内会長
//	今野 久郎	小鶴北部町内会長 (新)
//	庄司 健治	燕沢北町内会長
//	相澤 充	燕沢東部町内会長
//	町田 克江	燕沢東部
//	黒木 純恵	鶴ヶ谷南 (新)
//	野辺地弘恵	バルシア施設長
//	豊島 正志	いこいの郷・燕沢施設長
監事	岩淵 光男	燕沢北
//	高野 修	菖蒲沢

